

婦人 E
Va
/

GAa1/1

8-6-0-2

三十四年七月

生活技術指導モデル地区一覽並びに
昭和三十四年における生活技術指導計画

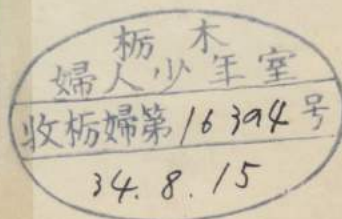
労働省婦人少年局



女性と仕事の未来館



01077913



モデル地区における労働者家庭生活 向上のための技術指導計画実施要領

一、趣 旨

労働者が十分な生産活動を行うためには、労働者自身の福祉とともに、家庭生活の向上が求められるので、そのための施策の一助として、社宅等労働者住宅の密集地域における労働者家庭に対し、生活向上のために必要な技術について集団的・継続的に指導援助を行うものとする。

二、実施対象

労働者住宅密集地域の中から選定したモデル地区における労働者家庭の主婦とする。

三、実施方法

労働者婦人少年局は労働者家族の生活技術指導を担当する協助員を選任し、婦人少年室を通じて左の方法によって指導を行うものとする。

／ 懇談会の開催

(一)
婦人少壮室長に専任協助員とともにこの問題についての関心をたかめるため、労働者家族および関係者衆所、労働組合等とモデル地区において懇談会を随時開催するものとする。

2 専任協助員による技術指導

専任協助員はモデル地区に出張し、直接労働者家族に接して集団指導を行うものとする。

3 連絡員

婦人少壮室長はモデル地区に居住する労働者家族の中から特にこの問題について熱意をもつ有能な主婦を当該地区における連絡員として置くよう勧奨する。

4 指導内容

家計 保健 衛生 家事作業 教養 娯楽 人間関係等 家庭生活に含まれる諸項目に關し、向エのために必要な知識の普及および技術の指導ならびに協同活動の育成指導を行うものとする。

五 実施の時期

(三)

昭和三十三年度労働者家族福祉運動期間中に懇談会を周催し爾後継続的に技術指導を行つものとする。

生活技術指導のためのモデル地区一覧

県名	事業所名	従業員数	対象世帯について		集会所 の有無	モデル地区労働者の月収賃金			主婦会・家族組合		室からの 所要時間	指導員名
			世帯数	平均家族数		平均	最高	最低	有無	加入状況		
北海道	住友金属鉱山 余市鉱業所	574	309	4.7	有	雇)27,308 坑内)23,130 坑外)4,494	50,004 35,444 20,076	13,232 14,196 7,955	なし		230	山口浪子
青森	弘南バス株式会社	942	41	4.4	なし	22,600	35,250	10,100	なし		90	川島幸サ
岩手	東北電気製鉄 和賀川工場	767	48	4.1	有	21,666	31,500	8,917	なし		150	増田セイ
宮城	東北金属株式会社	815	50	5.0	有	16,000	40,000	12,000	有	全員加入	不明	坪内みさき
秋田	秋田木材株式会社	796	71	4.0	なし	11,430	16,000	7,500	なし		120	小松ミエ
山形	日東金属鉱山 蔵王鉱業所	413	122	3.5	有	22,700	43,000	8,000	有	全員加入	120	高橋政子
福島	日東紡績 富久山工場	1,471	154	3.9	有	32,000	98,000	19,000	有	全員加入	90	作岡フミ
茨城	日立製作所 日立工場	5,858	279	4.9	有	25,000	46,000	17,000	有	全員加入	80	石垣美根
栃木	高崎製紙 日光工場	820	110	3.5	有	19,000	40,000	15,000	なし		30	阿久津愛喜
群馬	白石工業 白壁華工場	257	40	4.0	有	18,000	32,000	12,000	なし		120	細谷文江
埼玉	日本ピストン リング与野工場	488	83	3.5	有	22,028	43,450	6,700	なし		30	松原一板
千葉	川崎製鉄 千葉製鉄所	6,853	27	5.0	有	44,000	70,000	25,500	有	加入(6人)	15	鈴木勝子

県名	事業所名	従業員数	対象世帯について		集合所の有無	モデル地区労働者の月収賃金			主婦会家族組合		室からの所要時間	任協功真氏
			世帯数	平均家族数		平均	最高	最低	有無	加入状況		
千葉県	北越製紙 市川工場	489	26	4.3	有	29,000	48,000	17,000	なし		40	鈴木勝子
東京都	東都製鋼 東京製鋼所	1,175	232	3.6	有	29,000	45,000	18,000	有	不明	45	堀浦陽子
神奈川県	日平産業株式会社	700	78	3.5	なし	不明	50,000	22,000	有	全員加入	50	杉田露子
	日本冶金工業川崎製造所 特殊製鋼 日本金属川崎工場	1,195 1,250 585	230	不明	なし	不明	40,000	17,000	有	全員加入	60	
新潟県	新潟鉄鋼所、新潟支社	3,568	74	5.0	有	19,780	23,830	11,330	なし		30	西田はつ子
富山県	不二越鋼材工業株式会社	4,051	54	3.0	有	21,444	62,740	7,960	なし		30	堀内おさ
石川県	石川製作所森本工場	650	100	4.0	有	不明	不明	不明	なし		20	飯田反枝
福井県	信越化学 武生工場	550	48	3.4	なし	23,500	44,600	15,000	なし		65	山口妙子
山梨県	三菱金属鉱業 宝鉱山	168	96	3.2	有	18,948	29,686	11,381	有	全員加入	150	志村花子
長野県	株式会社 前田鉄工所	不明	50	3.5	有	25,000	38,000	21,000	なし		30	倉島日露子
岐阜県	送定中											花岡みづ子
静岡県	本州製紙 岩判工場	261	74	4.8	なし	22,000	68,270	8,671	有	全員加入	45	望月さく江

県名	事業所名	従業員数	対象世帯について		集会所の有無	モデル地区労働者の月収賃金			主婦会家族組合		室からの所要時間	任勤員氏名
			世帯数	平均家族数		平均	最高	最低	有無	加入状況		
愛知	大同毛織 稲沢工場	692	92	4.3	有	27,780	64,000	14,156	有	加入 (89%)	50	長田久美子
三重	東亜紡織 泊工場	970	50	5.0	有	25,733	41,700	15,849	なし		55	島田みえ
滋賀	東洋レーヨン 滋賀工場	5,126	97	2.5	有	18,000	20,000	15,000	有	全員加入	30	仙頭利子
京都	三菱製紙 京都工場	400	57	2.6	有	51,705	102,300	19,429	なし		40	林田富美
大阪	茨木 オーク府営住宅		100	4.0	有	17,000	40,000	9,000	有	全員加入	65	浦野住江
兵庫	小泉製麻株式会社	2,600	316	2.8	有	26,720	65,500	12,000	有	全員加入	30	花野正代
奈良	日本アスベスト 王寺工場	328	120	3.0	有	工16,800 私29,300	65,200 68,100	7,151 10,270	不明		50	藤沢光子
和歌山	大和紡績 松原工場	586	76	4.5	有	23,100	56,000	15,171	なし		120	阿本かほる
鳥取	国鉄米子管理局鳥取駅	740	25	4.3	有	18,000	30,000	13,000	有	加入 (13%)	25	秋野春子
島根	オーエム紡機製作所 宍道工場	1,075	108	4.3	有	工22,521 私26,246	30,119 38,864	11,907 15,750	なし		45	押田芳枝
岡山	倉敷紡績 四日市工場	440	40	4.0	有	20,750	28,076	11,098	有	全員加入	30	岩崎美弥子
広島	三菱造船 広島造船所	5,332	45	3.6	有	35,000	70,000	6,000	有	不明	30	中村文江

県 名	専 業 所 名	従業員数	対象世帯について		集会所の有 無	モデル地区平均の月収賃金			主婦会家族組合		室からの所要時間	在勤助員氏名
			世帯数	平均家族数		平 均	最 高	最 低	有 無	加入状況		
山 口	桜山炭鉱株式会社	680	300	4.2	有	20,000	34,000	9,000	有	全員加入	90	山田佐喜子
徳 島	四国電力徳島支店											栢田洋子
香 川												川村季子
愛 媛	井関農機株式会社	1,058	48	3.3	な し	25,000	34,000	16,000	な し		10	和田又工
高 知	白石工業 土佐工場	204	47	3.0	有	16,000	24,000	10,000	有	不 明	120	三本の爪子
福 岡	麻生産業 麻生鉱業所	500	500	6.0	有	20,000	30,000	12,000	有	加入(420人)	160	裏辻敦子
佐 賀	杵島炭坑 杵島鉱業所	4,600	3,600	3.6	有	29,076	59,076	9,091	有	全員加入	124	服部テル子
長 崎	深江炭鉱 三浦鉱	65	22	5.0	有	13,000	17,000	11,000	有	全員加入	180	井手美須恵
熊 本	中央紡績株式会社	556	39	4.0	有	不 明	25,000	12,000	有		50	成松ツヤ子
大 分	日本鉱業佐賀関製錬所	1,900	1,663	不 明	有	18,405	18,045	9,000	有	加入(975人)	90	石井美裕子
宮 崎	旭化成 延岡工場	15,000	47	4.0	有	23,805	40,155	13,460	有	不 明	不 明	押川順子
鹿児島	国鉄西鹿児島工場	1,153	93	5.0	有	27,600	29,700	23,400	有	全員加入	22	岡 き 子

全国モデル地区別生活技術指導年間計画

北海道婦人少年室関係

住友金属鉱山(株)余市鉱業所豊浜地区社宅

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
五 月	○ 社会の一単位としての家族生活 ○ 支出に就いて ○ 生活費の割合	講義	
六 月	○ 収入に就いて ○ 収入の資源 ○ 人向の慾望と消費行為	講義	
七 月	○ 消費生活の合理化及家計の構成物の価値 上手な買物 ○ 予算の立て方	講義	

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
	収支のバランス・会計期の 決め方 支出の割当		
八 月	○食生活の改善 ○食生活の影響 ○強化食品について	講 義	
九 月	○各栄養素の作用 調理化学 食品群の摂取 基準と献立	講 義	
十 月	○栄養料理 ○生活時間と労力	実 習	
十 一 月	時間と労力の重要性 ○時間の管理（主婦の生活時	講 義	

	同の実態) 労務管理——労力標準化 家事労働に対する準備と設備	十二月	○衣生活 被服計画・被服見極 保存手入等
		講義	

その他

随時見学

冬季には備助

つくろいもの

手芸の実習をいれて

主婦相互の親睦を図る

(註)

さきにモデル地区として選定した所が環境衛生地区に指定されていたので、これを

中止、五月より生活技術指導を実施した。

青 森 婦 人 少 年 室 開 張

弘南バス株式会社松原住宅

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
一 月	新年懇親会 家計のいとなみと主婦のあり 方	主婦と家庭経済 明るい家庭を築くための家庭管理	
二 月	家計のいとなみと家庭管理に ついて	予算のたて方	
三 月	家計のいとなみと交際につい て	予算の実行について 家計の実際について検討	
四 月	栄養問題と料理講習 婦人週間について	カロリーと家計から割り出した栄 養	
五 月	栄養問題と料理講習	食生活改善と三色運動について	

六月	栄養問題と料理講習	料理実習にともなつた生活設計について	
七月	子供のしつけ方について	子供に自主性をもたせるには父母はどうあるべきか	趣味生活という点で会員の希望によりレール入編を指導する予定
八月	子供のしつけ方について	学校と家庭と地域との向題	
九月	家庭の人間関係及び地域集田のあり方	子供をよりよく育てるために家庭と地域はどうあるべきか	
十月	衣生活について 毛糸編・洋裁指導	衣生活の改善について	サンブルをみて 各自の衣生活の検討
十一月	衣生活について 毛糸編 洋裁の指導	衣類の手入 保存 やりくりについて	各自の希望により実習
十二月	衣生活について 毛糸編・洋裁の指導		

若手婦人少年室関係

東北電気製鉄和賀川工場

期日	指導項目	指導内容	備考
一月二十日	家計 筈	我が家の家計の上手なやり方	講義
二月二十日	家計 筈	食生活費	講義
三月十六日	家計 筈	衣生活費 教育費 交際費 娯楽費 費 娯楽費 保健衛生費 燃料費 入をためむ時の費用 家具費 貯蓄 税金	
四月二十日	子供めしつけ	幼時期教育の重要性について 生け花	話し合い 実習
五月二十日	子供めしつけ	児童期の道徳教育 兄弟の問題 反抗期の問題	話し合い
六月二十日	子供めしつけ	おこづかいの問題 読書の問題	話し合い

七月二十日	料理	映画の問題 子供の健康 性教育 青年男女の交際について 我が家の自慢料理の発表	実習
八月二十日	肉を使った洋風料理	未定	実習
九月二十日	お客様用の日本料理	未定	実習
十月二十日	社会施設見学	新聞社他社会福祉施設希望	

宮 城 婦 人 少 年 室 関 係

東北金島(株) 社宅

一月	年間生活設計の設定	とにかく計画倒れになりやす 生活 の年間重点目標をばつきりさせ、 出来るだけそれにぞった生活をす るよう努力する心構えをつくる。	最初の行事で あったので正 月料理の実習 もかねて初顔 合せと話し合ひを実施
----	-----------	---	--

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
二 月	各自の生活実態の確認	生活全体を検討し、具体的な問題と取り組む	
三 月	衣生活をめぐって	最近の衣料事情の好転はいろいろの問題を含んでいるので、問題を探索しながら実態面にもふれる。	洋服地の着肋の裁ち方と縫い方
四 月	保健	季節の変わり目を控えて保健についての関心をたかめる 衛生思想の高揚と実際 家庭看護	予定を変更し
五 月	集団生活のエクサケツト		

十一月	冬を迎える準備	九月	夏家具 衣類の始末と秋の準備	八月	夏休みの生活	七月	夏の健康を保つために	六月	化粧の取扱い
	漬物と防寒具、その他家計全般に る。		日常生活に關係の深い所を見學す		予餼会の運営と夏休みの生活充実をはかる		食生活を中心にする講義		多く出廻っている化粧の正しい取扱い方

期日	指導項目	指導内容	備考
十二月	年末の生活設計	ついでに講義 あめたゞしい年末に計画的に手帳のよい生活の出来るように生活設計を推進するための講義	

秋 田 婦 人 少

年 室 園 係

秋田木材(株)住宅

一月二十日	指導についての懇談会	日時 指導内容に対する要望などにつき話し合い	
二月五日	家族関係	1 家族相互の協力 2 主婦の生活についての調査票 説明	

五月十四日 最近の問題についての話し合		六月二十四日 家計帳
1 選挙について 2 結婚式の簡素化 3 子供の卒業 入学について	1 家計帳の必要性について 2 家計帳をつけるうえでの問題点	1 家計帳をつけてみての生活の反省・検討 2 生活のどんな点を改めたらよいのか

山形婦人少年室関係

日東金屬鉾山蔵王鉾業所

期日	指導項目	指導内容	備考
四月	家計について	講義とはなし合ひ	
五月	手軽につくれるお祭り料理と 山采料理	展示と講義	
六月	1 季節の料理 2 家計のまとめ	講義と実習 講義	
七月	1 季節の料理 2 母と子の二十四時間の子 ごし方	講義と実習	
八月	1 季節の料理 2 家計のまとめ	講義と実習 講義（六月に手渡した家計帳に実 際記入してみてそれを再検討する）	

九月

1 季節の料理

2 衣料の手入れと作業衣の
作り方

講義と実習

福島・婦人少年室関係

日東紡績 富久山工場

家計

1 家計帳記帳

食生活

1 日常食の改善

1 記帳の実態調査

2 分析

3 計画的な生活設計について

4 講習会 座談会

1 栄養の知識（厚生省の栄養表
の配布） 栄養の平均的な摂取

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
	2 漬物の上子な作り方 衣生活 1 衣服の選び方と取扱い方	方法等について講義 2 一日の食物費と栄養量との関係（計画して金額をきめ実践を通して家族数年令との関係や物価の問題を検討する共同購入にまで発展したい） 3 物価市況調査（毎日） 1 各家庭で採取している漬物の内容についてききとり調査 2 定期的に座談会を実施 1 新しい衣服繊維の知識について専門家の講演	講師 日東紡績富久

2 既成品の上手な買い方

住生活

生活管理

1 生活時間の調査

2 家事労作

教養

1 子供の教育

(親子の問題)

2 読書会の開催

1 晝夜勤務の睡眠対策

2 物品の配置と整理、物品の持ち

方持について(能率)

1 主人 主婦 子供等各自の生

活時間を別々に記入し生活を調
整する

1 能率的な家事

1 外来講師による講演

2 優良事例の体験発表等

1 指定した本をよみとれに対す

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
	3 時 同 励 行	る。(技術的教育的)感想を 表しあう会 出席しやすい時同 体制をと る。	

茨 城 婦 人 少 年 室 開 係

日立製作所日立工場工ノ内社宅

一月二六日 (月)	生活技術向
1 前回の復習から出発 して	2 燃料の概要
指導細目	燃料の調査 コタツ・風呂等の種々の能率 研究 光熱・燃料の種々

三月二十六日
(木)

に益るせら悟を性要重の法計家のてしと礎基の上

3 一ヶ月間各自の考察 を呼びかける	1 〇 モデル地区におけ る主婦の生活について の真相表” 記入実施 2 一ヶ月分燃料の復習と 電気器具について
・ 時間と能率 ・ 器具と燃料 指導方法 生活経験を呼び起しつゝ講義	・ 出席者について ・ 真相票を配布 記載してもら う ・ 未出席者については連絡員とし ての主婦会長に幹事も協力 記 載及び回収方の協力依頼 指導方法 主婦の話し合いから出発して 燃料の能率 時間 経費等の講 義
機を見て電気 器具の展示及 び実習を約束 する	次回は電気器 具の展示及び 実習の予備

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
三月二十六日 (木)	／ 日常使用の電気器具 の展示と実地指導	指導細目 イ、電灯の使用法について ・ ニ又、三又ソケット使用の 問題 ・ 安全使用の問題とAとWの 問題 ・ 効率の高度の使用法等 ロ、電気コンロ、掃除器、トース ター、洗濯機等構造の簡単な分 解と説明、使用についての注意 事項と実習	

指導方法

実習と展示説明者

東京電力K.K. 秋津営業係長

器具その他運搬協力

東京電力日立営業所

期 日	四月二四日 (金)	(金)	五月二二日 (金)
指 導 項 目	1 前回の復書 2 衣の概説	2 衣の概説	1 工場見学 2 繊維についてのお話
指 導 内 容	1 前回の復習(六六式) 2 衣について 衣の種類 合理的な着方の研究 繊維差について 繊維の種類と材料 洗剤の種類々 指導方法 概観的に講義して衣についての 関心を喚起する	2 衣について 衣の種類	見学工場 日立市鉈塚惣工場
備 考			次回は工場見 学という事に 話し合い

家庭の重要な性質を知らしめるために

三月三日

(月)

1. 前回工場見学の感想
 2. 洗濯の展示
- 実習と説明

- この見学を通して合成繊維の躍進
を感じさせ 繊維に対する科学的
関心を持たせるようにする
- 全工場研究所員(理博)よりお話
をさく
- ・ 繊維発達の歴史
 - ・ 展示製品の説明
 - ・ 不燃・絶縁のものを含む
 - ・ 合成繊維製品の説明
 - ・ テトロン(石油化学系繊維)
 - ・ ボンネル(アクリル系繊維)
 - ・ 見学の際感想と繊維についての話
し合い復習
 - ・ 洗濯について

期 日		七 月 下 旬 予 定
指 導 項 目	のてしと礎基の上術技活生	
	・ 石鹼・洗剤の基礎知識と繊維との関係 ・ 布地と洗剤の質と量及び水の種々・温度等の関係 ・ 展示実習 ・ 螢光染料と糊剤について 指導方法 実習・展示説明者 資生堂本部派遣取員 女子取員二名	／ 前回の復習 復習 繊維と洗剤 水質や温度・洗剤との関係等
備 考		

八月下旬

家庭計画の重要な性を生活させるために

2 子供の教育費について

て

子供の教育について

素質

環境

教育の必要



夏休みの子供の生活設計

子供の小使帳指導

1 前回教育費について

2 夏休み中の子供の生活

実体を通して

3 教育費の記録の試み

・ 前回の教育費について、実際同

題の話し合い

・ 今の教育と昔の教育

・ 道德教育しつけについて話し合

い

・ 小使帳記入後の体験の発表

・ 子供の生活設計の反省

・ 一ヶ月の小・中・大学の教育費

をできるだけ書いてくる

夏休みにど

えて子供の同

題に入る

期 日		九 月 下 旬
指 導 項 目		庄 活 技 術 向 上 の 基 礎 と し て 1. 子供の生活をみつめて 2. 家計と教育費について
指 導 内 容	指導方法 (家庭実習) 話し合いや質問を主として講義	・ 子供の生活の実態の話し合い 健全育成について 児童心理（前期・後期）について て ・ 家計と教育費について 小・中・大学の教育費の標準について 各家庭での教育費の再検討 指導方法 講義と話し合い

十月
下旬

家庭設計の重要な性を悟らせるために

／ 家計帳中の
教養費につ
いて

宿題

新聞・ラジオ・雑誌・週刊物の
各家庭の経費はどの位か

教養費について

・新聞・雑誌・週刊物・ラジオ

映画等の検討と講話

・話し合い

・一ヶ月の教養費の設計

経費・内容・生活時間

・婦少室で行った主婦の生活実問

表の中の「教養」関係を参考発

表

宿題

出来るだけ各自分の記録をとる

期日		十一月 下旬	十二月 下旬
生活技術向上の基礎としての家計家の重要な性を			
指導項目		／ 敬養との関係にお いて 社会見学	／ 家計法の中の生活費 について
指導内容	指導方法 講義と話し合い	敬養のための視野を広めるための 社会見学 新用社 雑誌社 ヴァルト 等の 見学視察 省 題 会社供給所調査の予告 （上ノ内 兎平の二供給所） 食品売場の生活状況と価格 社宅主 婦は一ヶ月位継続して内心を持つ 年末の生活と連結して 家庭の一般整理について	
備考		自動車の配車 等については 会社に協力依 頼	

に為るせら梧

台所整飾 便所の清潔

衣料品の始末

年末物価調査 供給所調査

指導方法

供給所を見廻り エノ内地区一

般視察調査

栃 木 婦 人 少 年 室 南 條

高崎製紙(株)日光工場社宅

自三四年

生活改善について

一月

至三四年

一二月

輕易な家計帳の記入方法について
合理的かつ豊かな生活を目指して
明るい楽しい家庭と住みよい社宅
風俗がづくりあげられていくよう

群馬婦人少年空閑係

白石工業 白龍華工場

期日	指導項目	指導内容	備考
一月	家庭経済	○ 家計の予算化 ○ 家計帳の記帳について	
二月	新生活運動について	○ 虚礼廃止 その他新生活運動の具体例について話し合い	
三月	環境衛生	○ 環境衛生講話 ○ 台所改善 社宅の住い方 問題点などについて話し合い	
四月	民主主義と選挙について	○ 講演	
五月	家庭生活の健全化	○ 家庭生活の健全化 ○ 社宅の人同関係の円滑化について話し合い	

六月	親の在り方について	講演	
七月	往住講話 子供の進学就取についての指導	講演	
八月	食生活改善 一般教養講話	調理及び食品の知識について 講演	
九月	婦人のための法制の知識	講演	
十月	家計帳の記帳について	家計帳コンクール入賞者による 具体的指導 体験発表	
十一月	社会施設見学	働く婦人の家 青少年関係施設 など	
十二月	家族関係と地域の向上について	討論会	

崎 玉 婦 人 少 年 室 関 係

日本ピストンリング(株) 与野工場従業員寮

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
一 月	生活設計	(講義) ○ 生活の計画(一年の暮らしのプラン) ○ 家計帳のつけ方	
二 月	食生活の工夫 Ⅰ	(講義) ○ 栄養の配分	
三 月	食生活の工夫 Ⅱ	(講義) ○ 食物のけぎ	
五 月	食生活の工夫 Ⅲ	(講義) ○ 季節の栄養料理	
六 月	食生活の工夫 Ⅳ	(講義) ○ 料理	
七 月	衛 生	(講義) ○ 夏の衛生と伝染病の知識	
八 月	衣と住の工夫 Ⅰ	(講義) ○ 涼しい暮らし方 (実習) ○ 夏の栄養料理	

九月	教育の問題		
十月	見学	(講義)の子供のしつけ (実習)のおやつ、工夫 (見学)の他社々宅見学	
十一月	衣と庄の工夫Ⅱ	(講義)の暖く暮す準備 (話し合い)の年間計画反省 。来年の目標 計画、た て方	
十二月	生活設計	(実習)のお正月料理の工夫	

十 葉 婦 人 少 年 室 内 係

川崎製鉄株式会社

期 日	三 四 一	二	三	四	五
指 導 要 目		経済 家計管理について 家計帳のつけ方	子供の養 家庭教育	食生活 栄養の知識 栄養の一日必要量について	衣生活 簡易ワリトニング・背広 ネクタイ等
指 導 内 容		講 義	講 義	講 義	講 義
備 考					

六 衣生活 漂白 色物の洗濯 アイロン かけ	実習
七 食生活 夏休みの子供のため に 簡単なお菓子 常備食品 等	実習
八 衣生活 ふとんの手入れ はり物等	実習
九 住 住居の丕營 集団生活のあり 方	講義 懇談
一〇 住 掃除の仕方	講義 実習

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
一	住 家 申 込 替 時 間 の 使 い 方	講 義	
二	手 定 生 活 に つ い て		
一 二	手 定 生 活 一 年 の し め く くり 手 算 の た て 方	講 義	

北越製紙株式会社

三 四 一	二	三	四
	食生活 栄養の知識 栄養の一日必要量について	食生活 経済的 栄養的な食料料理十種	食生活 肉を使った経済料理八種
	講 義	実 習	実 習

一〇	九	八	七	六	五
住 集団生活のあり方	住 住居の全容	住 育児 幼児食の指導 幼児の扱い方(衣・食・住)	衣生活 ふとんの手入れ けり物等	衣生活 漂白 色物の洗濯 アイロン かけ	衣生活 簡易クリーニング 背広 ネ クタイ等
講義 懇談	講義	講義 実習	実習	実習	実習

期 日	道 場 項 目	指 導 内 容	備 考
一一	経済 家計管理 時間のか い方 予定生活について	講義	
一二	経済 一年のしめくくり 予算のたて方	講義	

東京婦人少年室関係

東都製鋼株式会社東京製鋼所社宅

三十四年	人	幼児から思春期に至るま	特に集團住宅における性教育につ
一月	その性教育について		いての母親の心配をひき出し精神
三十一日			肉体の面顔の問題点を具体的に列
	る、	子供の読みものについて	挙し指導する
			前回の話しから関連して、児童の
			読みもの選択の重要性、又父兄の
			読みものについての反省
二月	幼児の育て方から一般の子供		集團住宅地における子供の躰方に
二十八日	の躰		ついての、母親たちの悩みの質問
			を受けて、応答指導する
五月	明るい家計		限られた経費の中での主婦のやり
七日			くりの方法と知恵、更に各種の利

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
八 月 十三日	家計簿のつけ方	延の方法を具体的に指導 前回の話に続いて、今回は各々の 収入高に応じての生活費目の分け 方、記入方を詳細に説明指導、家 計簿をつけることを宿題とした。 主婦も積極的に生産に役かいた い意向が表われたので内取をとり あげた。	
六 月 二十七日	内職の手引と指導	内取の実態及び家庭と内取につい ての主婦の心かまえを話し、実施 指導としてストーリーの編み方の講 習をする。	
七 月	／ 家庭につながる取場の安	安全週間の期にあたり従来は一般	

全について

2 夏休みの子供の躰

八月 夏の伝染病とその注意

九月 主婦の健康保持について

の家庭主婦達が単なる専業場の年間行事としての安全週間を知るのみで、関心がないので、労働者の家庭との関連について説明、啓蒙指導。

母の悩み、苦心、苦勞について助言指導。

集団住宅地において特に心得なければならぬ諸点をあげて専門家の指導を受ける。

ガン、結核等の集団検診のすゝめと、家庭の主婦が簡単に疲れを癒す方法とその実地指導を講師によつて行う。

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
十 月	賑場と家庭の衛生	衛生週間に際して主婦たちとこの週間の意義に徹し家庭や地域社会の衛生について心がまえと知識を示しなかり指導。	
十 一 月	栄養料理の講習	一般主婦の望んでやまない守備で栄養のある料理の実施指導する。と共に食物についての基礎知識の講義	
十 二 月	暮の上手な買物について	買物のコツを特に年末に際して、よき消費者としての主婦教育をする。	

二、六 料理 及 評裁

七、七

家庭管理と栄養料理指導（実施、理論）

一ヶ月一回、一回実施時間 三時間

家庭生活全般にわたる知識、技術を系統的

に、その専門技術をもつてゐる協助員によ

り指導

家計の企画、衣食住、衛生安全の立場から

指導

経済の工夫等（幅広く常識を含めて）現地

の実状を勘察し、要望に添つよう指導する

以上を一回四十分とする

家庭管理の時間終了後日常食の栄養料理の

原則として月一回指導
二回実施の可能な場合
は見学、懇談等を実施
する

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
⑤	講習をする。 季節に応じて実施（以上二時間） 七月以降よりモデル地区は日平産業一ヶ所とする。		

静岡岡婦人少年室関係

一月	料理実習
2. 講義	支那料理
栄養学概論	栄養の意義

四月	三月	二月
1、料理実習 2、講義 食物と栄養 栄養素の種類及びその作用 食物の栄養価 子供用菓子	1、料理実習 2、講義 成人病について 節句料理の作り方 和洋料理菓子	1、料理実習 2、講義及び実習 家庭看護 発熱、熱に対する処置

期日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
五月	1. 料理実習 2. 講 義 食品衛生 惣菜料理 菓子 経口伝染病、食中毒徴候		
六月	1. 料理実習 2. 話し合い 巻考し、和料理		
七月	1. 料理実習 2. 講義及び実習 校服整理 化学繊維の知識と取扱 い方		参考の冊子を配布する

九月	八月	
2 ノ、料理実習 講義及び実習	3 主婦の保健体操 4 清涼飲料の実習 5 冷たい飲物の作り方 6 冷たい飲物を作る	3 講義及び話し合い 子供の夏のくらし方(教育) 少食の不良化防止の問題
	本講習のために特に作成した食品分析表を配布する。 別添「食品成分便覧」を贈	話し合いに役立たせるため 十六ミリ映写

期日	指導要目及び内容	出席者数	備考
十月	被服製作 新しいきもの作り方 料理実習 献立のため方 摂取量の基準と食物費 年令別 分作別による 献立 家族の献立 2 講義		
十一月	料理実習 料理展示会 参加者の調理作品を展示し 審査の上、優れたものに賞を あくる		
十二月	料理実習 正月料理の作り方 2 講義 家庭経営 衣食住暮らしのまとめ		

石川婦人少年室

(株) 石川製鉄所森本工場

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
一月十日	家計簿のつけ方説明 今年の行事計画を話合う		日銀からの家計簿配布 新年会を兼ねる
二 月 二十三日	料理講習、調査依頼	お弁当の献立、講義、実習、 主婦の自由時間に関する調査	献立表作成
三月十五日	見 学	大栗寺、石川県整肢学園見学	大栗寺で協助員の依つ た料理を試食
四月十九日	料理講習、座談会	実 習 近頃の青年と子供について座談	献立表作成
五月十七日	料理講習		
六月三十一日	洋裁講座	夏の簡単服、下着の作り方	
七月十九日	料理講習、座談会	入学受験準備中の子供の栄養 料理 座談会「子供と青年期」について	

八月十六日	料理講習、スライド映画	中学時代（養育盛りの）子供に与えたい料理 アメリカや南アジアの女のくらし	
九月二十日	〃 座談会	初老期における主人を対象として	
十月十八日	手芸講習 〃	簡単で家庭用品、装飾品	買物袋等
十一月二十日	衣服講習 〃	新しい着物について	昔の着物の更生について
十二月二十日	料理講習、座談会	正月料理、家計策について	

新 淳 婦 人 少 年 室 関 係

新 淳 鉄 工 所 新 淳 支 社

一 月	二 月	三 月	四 月	五 月
料 理 実 習	〃	〃	〃	料 理 実 習
材 料 の 栄 養 に つ い て の 話				
「 冷 凍 サ ン マ の ポ テ ト フ ラ イ 」 実 習	「 千 種 揚 げ 」 実 習	「 あ じ の 野 菜 あ ん か け 」 実 習	「 さ ば の 松 前 む し 」 実 習	野 菜 に 含 有 さ れ る 栄 養 と 必 要 量 及 び 蛋 白 質 の 一 日 の 必 要 量 に つ い て 説 明
「 い わ し の 蒲 焼 」 「 た つ た 揚 げ 」 実 習				
副 菜 に つ い て の 話 蛋 白 質 の 必 要 量 の と り か た 及 び キ ャ ベ ツ の 選 び				

期 日 指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
六 月 料 理 実 習 材料の栄養についての話	方食べ方 「あじうの花あえ」「ケジュレ」 （魚のいりめし）実習 鮎 玉子 おからの持つ栄養と蛋白質の説明 「夏向き野菜料理」の拌之絲 「麵類の栄養のある食べ方として」 炸醬麵 実習	
七 月 料 理 実 習 材料の栄養についての話		
八 月 洗濯実習 繊維と洗剤についての話 主として夏着地の話 日本細管社宅の主婦との交歓会	ネクタイのクリーニング・ワイシ ヤツの上手な仕上 実習 オーヤラックスを使った漂白 交歓懇談会	

九月	洗濯実習 毛織物と洗剤の關係について 日東紡績の給食施設見学	スエーターの洗い方と仕上 毛織スボンの洗い方と仕上 献立の立て方と栄養のバランスを 見るため 他、販場における給食を見て、晝食 の内容、献立のたて方等を勉強する 「クリームチャウダー」 「くじらかりん揚」 予算のたて方についてと各費目に ついて一つづつ説明する
十月	日銀晝食の給食見学	
十一月	料理実習 材料の栄養についての話	実習
十二月	家計についての話	

富山婦人少年室関係

不二越鋼材工業株式会社社宅

期日	指導項目	指導内容	備考
一月	家計法のつけ方とその必要性について	ノ 友の会家計法のテキストによる指導	
二月	食生活の指導	ノ 栄養のお話 ニ 常時の料理実習 ノ 常時の料理実習	
三月	〃	ノ お祭の料理実習	
四月	〃	ノ 梅雨期の料理実習	
五月	〃	ノ 衣類のしまい方と手入れ	
六月	衣類整理及び座談会	ニ 生活相談	
七月	洗濯の仕方	ノ 繊維別の洗濯の仕方と仕上げについて	

八月	座談会、（夏季児童対策） 廃物利用 廃物交換	2. 子供の小遣と夏休みのおやつ の作り方 1. 衣類ネクタイその他の更生 2. 廃品の交換	
九月	寝具の改善	1. 改良寝具又はフトンの編入れ 方法	
十月	住いの工夫	1. 子供部屋 台所の立体化	
十一月	室内暖房と経済	1. 暖房器具の選び方	
十二月	レクリエーション及び反省会	1. 室内レクリエーション 2. 生活指導幻燈会 3. 生活指導の反省会	

福井婦人少年室関係

信越化学武生工場ハ幡社宅

期日	指導項目	指導内容	備考
三、一	家計誌について	家計誌のつけ方について 記入実習	講師 中央児童相談 所判定指導係 中野幸男氏
三、二	児童問題	児童心理について 講義	講師 草の実保育園 園長 佐々木勝順氏
三、三	児童問題	少年期の扱い方 導き方講義	
三、四	児童問題		

五	六	七	八	九
〃	梅雨期におけるカビについて	趣味の編物について	〃	〃
小児病について 講義	カビの種類 原因 処置法について 講義	ビニール手さげ編講習	レクリエーション	スエーデン刺繍
講師 武生保健所長		海水浴（会社 主催）	映画会（会社 主催）	

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
三 月 一 日	化学纖維について	化学纖維の種類と特長及その用途 (スライド、布見本参照)	
〃 一 二	〃	手入法 洗濯法、仕上法、その他 (見本参照)	
〃 一 二	〃	工場見学 福井精練加工株式会社	

長野 婦人少年室関係

長野市 吉田 (株) 前田鉄工所

二 月

家事作業(家計)

講義 家計のため方、家計差のつけ方を中心に労働者として必要力

三月	〃	(料理)	〃	ローリーを保つための食費を重点に おいた。
四月	〃	(料理)	〃	季節の料理へ栄養分析を含めて、
五月	〃	(料理)	〃	〃
六月	〃	(料理)	〃	弁当の作り方 (1) 成人の労働者のため (2) 栄養分析
七月	〃	(手芸)	〃	縫ぐるみ人形 初歩のもの
八月	〃	(手芸)	〃	画き染
九月	〃	(料理)	〃	季節のそうざい料理 献立のため方
十月	〃	(料理)	〃	季節のそうざい料理 つけ物のつけ方
十一月	〃	(料理)	〃	季節のそうざい料理 簡単な食品貯蔵法等

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
十二月	家事作業（料理）	季節のそうざい料理、正月料理	

(注) 三十四年一月まで準備のための連絡業務のみで指導実施計画に一日は入っていない。

愛知婦人少年室関係

大同毛織(株) 稲沢工場

四・七	主婦会の組織を作る。	三社宅地区から役員を十名作り連絡員を互選、一名	浅沼協助員
五・二二	家庭管理について	出席者を多くするため年令層に通ずる問題を三社宅よりつづける。	長田久美子 金政芳栄

三重婦人少年室関係

東亜紡織(株) 泊工場 社宅

一月	上手な家庭管理について 家庭経済
講義 主婦の家庭管理についての知識技術の有無が生活水準に影響することが少ない。 特に、家庭経済について研究する。 講師 友の会 岡田 静代 講義 労働者は家庭にいる時間が少いので、子女の家庭教育の責任は主婦に大きくかかっている。 良識ある次の世代を育成するため心理的な子供の発育とその扱い方について研究する。	

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
二 月	子供に楽しく学習をさせるには、	講師 四日市保健所予防課長	
三 月		相 原 岬 二 講義、子供に楽しく上手に学習をさせるための主婦の心得	
四 月	家族ぐるみのレクリエーション ヨ ン	講 師 三重婦人少年室協助力員 島 田 み ち 講義 賑場と家庭生活が分離して いるために生計中心者と家族の 相互理解がスムーズにいかない ことがある。 家庭の話しあいの場をつくる慣 習とともに、たのしむ娯楽等を やだてる。	

五月	梅雨どきの家族の健康	講師 ガールスカウト推進委員 新井 春子
六月	夏の涼しい衣生活	講義 梅雨どきは食中毒をおこしやすいため、特に主婦として知 つていなければならぬ食生活 及び家族の健康についての心得 講師 三重婦人少年室協助員 石川 まさ 哉
七月	夏期における子供の生活指導	講師 三重婦人少年室婦人問題 相談員 今村 房 講義 心身ともにたるみやすい夏 期の子供の生活指導

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
七 月	ア フ ガ ン 編 み	講師 三重婦人少年室協助力員 島 田 み ゑ 講義 鉤針で短時間に簡単に編める編み方を指導し、暇時間の多い主婦の生活を有効にし、うるおいを持たせる。 渡 辺 貞 子	
八 月 九 月	休 み 人 間 関 係 に つ い て	講義 家庭内の和合をはかるため夫婦・親子の日常生活の諸問題を話し合い、豊かな生活を考えさせる。 講師 未 定	

十日	労務災害保険について	講義 一家の生計中心者が病氣になつた場合に 十分療養が出来かつ家族の最低生活が保障される労務災害保険法の内容を知らせる
十一月	視察 三重県内貺相談所	講師 未定 見学、県内における内貺の実情を視察し、自分達の生活を反省する
十二月	正月料理	実習 会員の希望する正月料理を指導し、お正月を楽しくする 講師 未定

滋賀婦人少年室関係

東洋レィヨン島居川社宅

期日	指導項目	指導内容	備考
一月、十二月	家庭料理講習	○指導細目 一 寒い日の夕餉の献立 釜めし 弁当の惣菜 おやつ 一 ちらしずしの集い 一 ピクニック用の弁当 一 子供の日の料理 一 初夏の料理 ○指導方法 見学と試食 講師か助手と実習するのを見学	前月に希望をきき、刷り物を事前に婦人部長に渡し回覧してもらい 人数をきめてもらう

したり、分担して、手伝ったりし、 出来上ったものを一同で試食する。	

大阪婦人少年室関係

茨木才一府営住宅

一月 二十日 へ才四 水旺日 以下 も同じ	家庭生活の合理化について	家計の合理化	衣料生活の合理化	食生活の合理化	私たちの日常生活を振り返って	座談会	講習会	講師
二月	青少年の心理と子供の育て方 について、							大阪友の会会 員、平尾カズ 江氏他三名 司会
二十五日		家庭に於ける親と子供の立場につ いて						浦野専任協助員 講師 大阪婦人 少年室協助員

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
三 月 二十五日	婦人週間について	婦人週間について 座談会 玉水婦人会の現在及び今後の在り方について 座談会	リーダー 大阪 婦人少年室長 浦野住江専任 協助力員
四 月 十五日	電気器具及びその他の家庭用製品の正しい扱い方や修理の知識について	電気の性質について 講習会 積算電力計のよみ方について 家計法と電気料金 直流と交流について 住宅と電気設備	講師及び実習 指導 関西電力株式会社 大阪北支店管 業課島本順三

五月	社会人として必要な教養について	アイロンの差込修繕の仕方について	氏 他三名
二十七日	社会人として必要な教養講座	育児知識について （乳幼児の養育の問題） 小・中学生の性教育問題	実習 講義及び座談会 浦野専任協助力員
二十四日		講義及び座談会	寺短大教授 講義、大阪婦人少年室 協助力員山根眞住氏 司会浦野専任協助力員
七月	社会人として必要な教養講座	青少年の不良化の問題 性教育等について	指導、講義 右に同じ
二十二日	内服実施打合会	打合会	司会、右に同じ
八月	家族問題について	家族計画問題について	未定
二十六日	内服指導		浦野専任協助力員

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
九 月	家族問題について	産児制限の正しい知識について	未定
二十三日	内転指導		浦野専任協助員
十 月	食生活を豊かにするために	栄養料理講習 実 習	指導、 ベター・ホーム・ プロダクツ
二十八日			浦野専任協助員
十一月	食生活を豊かにする為	栄養料理講習 実 習	右に同じ
二十五日	内転指導		
十二月	食生活を豊かにする為	栄養料理講習 実 習	前月と同じ
	内転指導		

兵庫婦人少年室関係

小泉製菓(株)社宅

三月 一月	二月	三月	四月	五月
冬休 み	生 活 指 導	生 活 指 導	生 活 指 導	生 活 指 導
料理 実 習	料理 実 習	料理 実 習	料理 実 習	料理 実 習
家計について	カレーライス サラダ 揚げパイ	教育費と小遣 チラシ寿し 黒かね 春の衣類の整理と簡易 クリーニング実習 トマトライス 孔雀卵とポテトサラダ 小供のよいしつけ サンドウィッチ フルーツ密豆		
月二回 曜日九時 三十分 三時 六分 二名 四名 ス				

期日	指導項目	指導内容	備考
三、四月 六月	生活指導 料理実習	梅雨時の健康と衛生 支那料理	
七月	生活指導 料理実習	寝具の手入 冷いめんの食べ方	
八月	夏休み	レバ料理、冬天料理	
九月	生活指導 料理実習	子供の偏食の問題	予定
十月	生活指導 料理実習	家事におわれずに暮らす工夫	
二月	生活指導 料理実習	秋の衣類の手入れ	
三月	生活指導 料理実習	家計簿と予算生活	

和歌山婦人少年室関係

大和紡績松原工場社宅婦人会

一月	調査	家族数及び年令、主婦の学歴、趣味、収入等について実態調査	九十戸の家庭について実情を知るために
二月	料理講習	栄養知識を高めるため支那料理を講習し、冬の食物について修得	
三月	講演	小供の心理について	入学期を前に
四月	料理実習	おべんとうのこしらえ方五種	ピクニックの季節により
五月	協力奉仕	社宅の内外の清掃、草引、こわれ	小供の遊び場作る
六月	講話二回	一、環境衛生について、 二、小供のしつけ方	
七月	映画	婦人と小供のために向くもの	
八月	レクリエーション	子供と共に海水浴	学校夏休み

奈良良婦人少年室関係

日本アスベスト会社

三月料理実習

講義 栄養知識一徹

さくらがし

期日	指導項目	指導内容	備考
三月 九月	実習	衣類の手入れ ふとん綿の入れ方 一、家族の健康について 二、家族計画について お母さんと中学、高校の生徒で (社宅内の学生) お正月の料理	
十月	家庭医学		
十一月	討論会		
十二月	料理実習		

六月	料理実習	菜 馬鈴薯の粕焼 菓子、ささ舟、水晶羹 飲物、黒豆ジュース
七月	午 芸	カバー（衿、枕） 刺繡、 カットウオーク アッスリケ
八月	洗濯	講義、洗濯と布質について 実習、ワイシャツ、洗い方、のりつけ 方、アイロンのかけ方、
九月	料理実習	季節野菜の保存法、胡瓜、トマト
十月	家計講義	家計について、家計簿
		衣服費と衣服計畫
十一月	家計見学	奈良友の会、家事、家計講習会
十二月	料理実習	正月料理

鳥取婦人少年室関係

国鉄米子管理局鳥取駅今所住宅

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
一月十八日	食生活改善	調理実習（懇談）	○食生活改善の指導日才三日曜日（をたて前）としている。
二月二十日	食生活改善	調理実習（懇談）	
三月二十日	食生活改善	調理実習（懇談）	
四月二十六日	食生活改善	調理実習（弁当料理）	
五月二十四日	食生活改善	調理実習（節句の料理）	
六月二日	食生活改善	調理実習（梅雨時の食事）	
七月十日	生活指導についての話し合い	座談形式の話し合い	
七月十九日	食生活改善	調理実習（盛夏の冷料理）	指導に対する反省、要望等
八月十六日	食生活改善	調理実習（お盆向の料理）	
九月二十日	食生活改善	調理実習（暑さまけの回復のための料理）	

十月十八日	食生活改善	調理実習（秋野菜を用いた料理）	
十一月五日	食生活改善	調理実習（病人食餌）	
十二月十日	食生活改善	調理実習（クリスマスマスの献立）	

島根婦人少年室関係

(株)オーエム紡機製作所 穴道工場社宅

一月	一年のくらし方	一年のくらし方について説明	昨年から引き続き家計表の記入について不明点を説明
二月	料理実習	おやつをつくり方	評論家山川菊栄氏婦人週刊のレポートの説明と併せて行う。
三月	講演	婦人問題について	
四月	簡易クリーニング	クリーニング実習	
五月	料理実習	季節料理実習	

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
七 月	防 水 の 実 習	季節料理実習 季節料理実習 一年の決算 一年間の反省と新年の計画につい て	
八 月	夏 休 み		
九 月	料 理 実 習		
十 月	料 理 実 習		
十 一 月	家 計 に つ い て		
十 二 月	家 計 に つ い て		

広島婦人少年室関係

三菱造船株式会社 広島造船所

一 月	家 計	一ヶ月間記帳の結果について疑 問やその他質問をきき家計相談に

二月 衣類整理

三月 食物と栄養

応じる。

一、冬着の中間手入れの一つとして
簡易クリーニングの実演

二、洗濯一般について、洗剤のこと、洗
剤と洗液の濃度のこと、糊のこと

三、白物へワイシャツを用いて一の

洗濯一般についての話と仕上げの

実演

一、食費の予算を最も有効に実行す
るために、その予算内で如何にして
栄養の必要量を確保するかについ
て知らせる。

二、副食費一日五十円で一日の栄養
量をとる得る献立について調理法

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
五 月	惣 采 向 き 料 理	を実演し、栄養料理的牛法を併せて行う。 一、日常の惣採用として、利用される料理を実演する。 二、特別に内容について、前回の講習内容を思い出させる様に、復習的に基本食品について話す。 三、保黄野菜特に芋類を毎日用いるについて調理を通して復習する。 一、お辨当の基本について内容、栄養量などにつきプリントにより説明 二、お辨当の三種類につき調理の実演をする	
六 月	お 辨 当		

七月	家計	八月	盛夏の栄養について	九月	夏着の整理	ごはんとおかず式のもの、ごはんの上 に副菜をかける式、サンドイッチ、 一、家計表により半期決算をしてそ の結果について話し合う。 二、家計相談に応じる。 一、真夏のつり合いのとれた食事の 仕方について夏向きの献立の調理 を実演して日常生活の助けにする。 一、夏に着たものの衣類整理をする。 二、洗濯仕上げの実演をする。 三、新戦鞋の履き方、その他について 一、幼児の栄養について、四食と主眼 においてその食事のとらせ方など について話し、一番面倒に思われて
-----------	-----------	-----------	------------------	-----------	--------------	---

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
十一月	家 計	実行されていらない軽食の調理の実 験をする。 ニ、外に幼児の衣食住全般について 三、成長期の子供の栄養について 一、まだ記憶していない人のために 記憶用プリントを用意して、十二月 にかけて一ヶ月の記憶の練習をす る。 ニ、記憶についての同題点や計算力 適不適等の他について話し合う 一、お正月三、四日間の商店の休業に 際して、買い置きをする場合の計画 的な買物について	
十二月	計画の買物と調理予定生活		

山口婦人少年室関係

櫻山炭鉱主婦会

一月	二月	三月	四月
	料理	料理	衣類整理
季節惣菜料理実習 お花見向け話料理実習 冬物のしまい方、簡易クリーニン グ、伸子張実習			

二、正月用保体食の献立と調理実 演	
三、生活の予定をたてなるべく余分 の時間を作りこれを有効につか う方法について話し合う。	

期日	指導項目	指導内容	備考
五月	料理	季節惣菜料理実習	
六月	洋裁	婦人小衣服原型のとり方、簡単な夏物製図講義予定	予定
七月	料理	季節惣菜料理実習	
八月	家事経済	予算の立て方、家計簿のつけ方講義	
九月	料理	季節惣菜料理実習	
十月	和裁	W巾の長着の裁方講義、茶羽織和服用トツパー裁ち方	
十一月	栄養	栄養的に見た一日の必要量	
十二月	料理	正月四料理	

愛媛婦人少年室関係

井関製機株式会社

六月二十三日、はじめて会合を持ったのみで、たちおくられているが、続いて七月三日に集合、毎月集まることになっている。
年間指導について計画中。

高知婦人少年室関係

白石工業株式会社土佐工場社宅

一月	準備のための懇談会	現在の生活について自由に話し合	
二月	県内の婦人の学習活動について	講演	
三月	子供のしつけと母親のあり方	講演及び話し合い	

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
四 月	基本的人権について	スライド ○基本的人権の尊重 ○新しい家、良い家庭 ○一升飯の吾作	
五 月	家事と健康	スライド ○家事と健康 ○取場と健康	
六 月	健康のためのレクリエーション	スライドを見て考える、実習、話し合い、	
七 月	夏季衛生	講演、実習	
八 月	夏休み中の小児の生活指導	講演、話し合い、	

九月	家庭経済を豊かにするために	講演 話し合い
十月	家庭経済中の食生活について	講演 話し合い
十一月	正しい家計簿のつけ方	実地指導
十二月	一年のまとめ、成果の発表	話し合い

福岡婦人少年室関係

麻生 山内炭坑社宅

一月	家計簿のつけ方と検討	検討と話し合い—各自記入した家計簿用紙を参す—
二月	全 石	全
三月	食生活	全
四月	全	○食品の検討、主食の米に代るもの

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
五 月	食 生 活	食品の検討（主食の米に代るもの）	
六 月	全	全	
七 月	全	○家計法コンクール提出後の感想 ○食生活改善の問題点 ○委節の献立	
八 月	全	○半年間の家計法を調べ、食費の予算とにてる。 ○問題点の確認。個人的、一般的、な問題をはつきりさせ、皆で改める方法を考えよう。 ○食生活の中に現れた家族の人間	

九月
衣生活

十月
衣生活

関係について

○季節の献立

○家計案の中で占める衣の割合を

にしかめて問題点を考える

他の面とのバランスは？

改善すべき点は？

○衣生活と時間の関係

―食生活との時間の面でのバラ

ンス等にも目をむけよう

○委節の献立

○冬仕度

○手作りによる衣料費の節約

○家族関係への配慮―色彩・形・材料

かっ―

○季節の献立

期日	指導項目	指導内容	備考
十一月	住生活に目をむけよう	○生活を豊かにするためにどの位の費用を住にまわせるか ○住生活と社会 ○住生活の合理化 ○共同作業 ○季節の献立 ○新年度の予算 ○一年間の反省 ―生活不安、社会保障等々にもふれて ○正月を迎えるために ○新しい家庭づくり 明るく人間関係をめざして	
十二月	家計簿を見なおそう		

佐賀婦人少年室 関係

杵島炭坑××杵島鉱業所大町々社宅

二月

人間関係に関する概論

講師 佐大文学部（法学）中尾

英俊助教

人間関係とは 如何なる事か、先
ず 人間関係についてお互が平等、
対等であると言う事 制度上も、
戦後 憲法、民法、労働法等が政
正され、農地改革が行われて、家
族制度の廃止、雇用関係における
労務上の地位は身分でない事、地
主と小作人との関係、等について
人間関係には、大別して、①取場

期 日	指 導 項 目	半 期 中
指 導 内 容	をも、講話、全般について総合的に講義。 あと質疑回答。 所要時間午後一時～四時	才一、四 家族関係について 人制度上からみた夫妻 乙、右 親と子のつながり、これに特に、思春期における教育問題も含める。 丙心理、経済面からみた家族構成について 右について、民法、社会学の見地から講義
備 考		

六二、四 半期中	社会における人間関係
六三四 半期中	話し合いについて
ノ近隣との交流 乙集団における人間関係 ろ取場における人間関係 近所つきあい、地域社会におけ る問題、取場における問題等に ついて、講話の後、身近かな問 題をとり上げて、具体的に、研 究討議	

長崎婦人少年室関係

深江炭鉱株式会社三浦 磁

期日	指導項目	指導内容	備考
2月	豚汁等の記入指導	協同員志願による豚汁等の初心香 せき日記式)の記入法を指導	
3月	豚料理実習	安価で栄養価高い豚を材料として 実習	
4月	坑内食(辨当)研究	炭鉱坑内で働く肉体的労働者のため に 1.見た目に美しい色彩のあるもの 2.安価で栄養価のあるもの 3.酸味のあるもの	講義
5月	坑内食(辨当)を中心とした料理実習	一、辨当献立 五子やき、ほうれん草ののりまき	

				6月	栄養知識について	人参の味噌づけ、べに生姜 ニ、安価で手軽な料理 茶碗むし、サラダ、あじへい わしーのてんぷら 労働と栄養についての説明	講義
				7月	料理実習	肉体の消耗はげしい夏季時にカロリーー多い材料を使って実習	
			8月	冷い飲物の作り方	手近な材料で簡単に作れる冷い飲物の作り方実習（脂肪を主体として）		
			9月	栄養知識について	食品の栄養価について		講義
10月	甘藷料理実習	秋季に多いさつまいもを材料として実習					

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
11 月	栄養知識について	坑内で働く主人 発育盛りの子供、妊産婦のための 栄養について	講 義
12 月	正月料理実習	安価で見栄えのよい簡単な正月料 理実習	

熊本婦人少年室関係

中央紡績株式会社内

四 月	主婦の経済生活について	○家計簿のつけ方 ○台所の化学化 ○衣生活の在り方 ○家族計画	講師として
--------	-------------	--	-------

五月	栄養料理の講習会	○物資共同購入について ○健康と経済について ○食生活の合理化講義 ○美習三品	講師 県衛生部 荻養士
六月	主婦の健康診断	○一級診断 ○レントゲン透し ○血圧検査 ○検便	市保健所 協助員 内田 守
七月	レクリエーション	○金おどり指導	熊本短大教授 丸山 孝（講師）
八月	教育に関する講演会	○児童の心理 ○青少年育成 ○進学についての諸問題	

期日	指導項目	指導内容	備考
九月	フトン 丹前 綿入実習	○フトン、丹前 座布田などの綿入の指導（講師招会）	羽衣綿の出張員
十月	見学	○テレビ写 市会 地方裁判所の裁判状況	専員協助力員引率
十一月	座談会	○主治の指導後七ヶ月間における労使の人間関係について 家族関係においてどのような変ったか（録音の予定）	担当教助力員（司会）
十二月	家族計画について	○スライドにより説明 ○器具により説明	市保健所 助産婦招会

大分婦人小室肉係

日城佐賀肉製鍊所金山地区

一月	肉肉有家族の生活実態調査	様式婦小室にて作成
二月	実習	
三月	講義	
四月	講義	

○家族肉係及び家計法について

○冬の料理実習

●脂肪の授り方について

○内取について

●公共取業補導所について

○家庭経済

●家計法のつけ方

○婦人と家庭生活について

●婦人週間テーマを中心

○家庭経済

●予算生活、家計法のつけ方

期 日	五 月	六 月	七 月
指 導 項 目	講 義	講 義	講 義
指 導 内 容	○ 子供の生活指導について ● 児童福祉週間に因して ● 子供のしつけ 偏食矯正	○ 梅雨期における労働者家族の位生について ● 食生活指導 季節料理 ○ 家庭経済 ● 家計のつけ方	○ 米穀を主とした成人労働者一日の献立について 及びおべんと ○ 家庭経済と国民経済 ● 貯蓄 投資について
備 考			

八月	講義 実習	○ の栄養について ● 料理実習	
九月	講義 実習 見学	○ 老人の向題について ● 老人の日を中心に ● 中年以上のかゝりやすい病気に ついて ○ 料理実習 ● 中年以上の食生活について ○ 見学 ● 老人ホーム	
十月	レクリエーション	○ 労働者家族における主婦の余暇 利用	
十一月	研究発表会	○ 労働者家族における家政技術全般 についての研究発表	

期日	指導項目	指導内容	備考
十二月	講義 実習 懇親会	● 永計会 ● 料理コンクール ○ 年間の反省会及び新年度の計画 ○ 料理実習 ● 合理的な正月料理 ○ 懇親会	

宮崎婦人少年室関係

旭化成松尾場アパート

二月	永計に肉すること	座談会 永計法記入を継続する為 永計法の項 予算の立て方	
----	----------	---	--

三月（ 五月	食生活に関すること	収入の項目別配分率
	講義	
	家計と食費	
	栄養と価格の比較	
	一人一日の栄養必要量	
	食品の組合せ	
	日本人（我々）の食事批判	
	実習	
	主要食品の正確な目方調べ	
	目分量	
	お料理コンクール	
	試食会	
	により座談会	
	家計とにらみあわせた献立のた	
	く方、作り方	

期 日	指 導 項 目	指 導 内 容	備 考
五月 七 月	子供の教育 しつけに關する こと	講義 アンケートによる研究 児童相談所長の講義 映画による視覚教育 座談会	
九月 十 月	夜生活に關すること	細目はアンケートへ七月実施予定 により決める	
十二 月	反省会		

